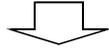


第8回検討委員会における検討のポイント

1. 今後の生徒数の減少を踏まえて県立高校の配置をどのように考えるか。

視点 高校教育の水準を確保し、教育効果を最大限発揮させるためには...

- ・教員数（科目開設...理科、地歴・公民、芸術）
- ・部活動の選択肢
- ・多様な個性や価値観との出会い
- ・集団の中での切磋琢磨



一定以上の学校規模（生徒数）が必要。

教員数から考えると4学級以上が望ましい。（第5回検討会議資料3参照）

視点 高校教育の機会均等（高校の配置）

- ・ある程度通学可能なエリアをどのように考えるか。
- （第5回検討委員会資料5-1参照）

視点 地域における高校の存在

- ・高校が地域文化の拠点の一つであったり、高校生の存在が地域の活力を引き出している場合もある。

2. 新しいタイプの高校（総合学科、中高一貫教育等）について
今後も導入していくのかどうか。

3. 高校における生涯学習社会への対応、特別支援教育への対応
これまでの考え方で今後もよいのか。